

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 財務課
 担当名: 財産管理担当
 内線: 6648

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B7	県立学校グラウンド整備事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育財産管理費	県立学校建物等維持管理費	
事業期間	平成20年度～	根拠法令	なし				宣言項目		
							分野施策	030622 質の高い学校教育の推進	
1 事業の概要				5 事業説明					
<p>県立学校のグラウンドは、開校より年数が経過しており風雨による表土の流出や、使用に伴う劣化などで教育活動に支障をきたしている状況である。</p> <p>表面の状態等が悪化したグラウンドを整備し、浮き石や凹凸、水捌けの悪さを改善することで、生徒が安心して安全に授業や部活動が行える環境を整備する。</p> <p>(1) 特別支援学校グラウンド整備事業 △1,119千円 工事請負費に係る入札差金等による減額</p> <p>(2) 高等学校冠水対策整備 △4,067千円 委託料が見込みを下回ったこと等による減額</p> <p>(3) 高等学校グラウンド代替地整備 △4,917千円 委託料が見込みを下回ったこと等による減額</p>				<p>(1) 事業内容 流出した表土の補充・整正によるグラウンド整備工事を実施し、生徒の怪我の原因となる浮き石や凹凸、降雨後のグラウンド使用の支障となる水はけの悪さ、砂塵の発生等を改善する。 その他学校教育活動や部活動に支障のないよう整備を行う。</p> <p>ア 高等学校グラウンド整備事業 6校 90,666千円 イ 特別支援学校グラウンド整備事業 1校 15,111千円 ウ 高等学校冠水対策整備 1校 39,754千円 エ 高等学校グラウンド代替地整備 1校 14,871千円 オ 区画整理地内保留地購入費 1校 843,392千円</p> <p>(2) 事業計画 グラウンドは経年劣化するため定期的な改修が必要であり、全ての県立学校を計画的に改修する。</p> <p>ア 平成30年度 (ア) グラウンド改修 7校 (県立高校6校、特別支援学校1校) (イ) 冠水対策整備 1校 (ウ) グラウンド代替地整備 1校 (エ) 保留地購入 1校</p> <p>イ 平成31年度以降 (ア) グラウンド改修 毎年7校整備予定</p> <p>(3) 事業効果 生徒が安心して安全に授業や部活動が行える環境を整備する。 平成29年度 7校 (春日部高校、熊谷商業高校、狭山工業高校、本庄高校、川越南高校、朝霞西高校、深谷はばたき特別支援学校) 平成28年度 7校 (春日部東高校、所沢西高校、吉川美南高校、鷲宮高校、川口北高校、大宮工業高校、大宮北特別支援学校)</p> <p>(4) 補正予算の概要 ア 特別支援学校グラウンド整備事業: 工事請負費に係る入札差金等による減額 イ 高等学校冠水対策整備: 委託料が当初の見込みを下回ったこと等による減額 ウ 高等学校グラウンド代替地整備: 委託料が当初の見込みを下回ったこと等による減額</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.3人=2,850千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△10,103	県 債						897	993,691
現計額	1,003,794		1,002,000					1,794	